

コンセプトは核廃絶世界平和実現を推進する本拠地、 世界交流発信の広場

●アイデアの要旨

*核廃絶世界平和実現推進の場として／その中心には国連。なぜなら現時点、世界のあらゆる国家が意見交換し問題解決を可能にする機関は国連以外には存在しないから。被爆地であるヒロシマはそこで世界の未来像を語り導く義務と権利がある。国連の分署として「**国連核廃絶世界平和実現推進センター**」を創設していただき広島に誘致を図る（世界平和構築を担う国連機関や国際機関を創設し広島に誘致することに関しては国会議員も超党派で勉強会を発足させている）。決して一枚岩ではない国連にとっても広島に重要な部署をもつことは機関として強度が増し、世界を良い方向へ導く力になると思う。そのそばには被爆に関するあらゆるデータを集積・研究、特別権限者（常任理事国と同等の権限）としての「**広島長崎院**」を創設。現実を見れば明らかだが、世界平和実現には長い年月と努力の継続が必要不可欠。次世代を担う人材育成の機関として「**国連大学**」を設ける。

*世界交流・発信の広場として／再生産業奨励館、国際交流センター&国連大学オープンカレッジ、国際メディアセンター、アートホール、水辺公園、国際青少年センター、商工会議所を設ける。

*健康づくり、医療技術向上の場として／スポーツ&ヘルスセンター、国際医療技術センターを設ける。

●デザインについて

このアイデア最大のデザインの特徴は、添付図面の点線A～点線B部分の元安川をそのまま斜め左上方に平行移動して点線A'～点線B'にやすらぎ川（仮名）として新たに通り、左側に平和島（仮名）を造ること。川の右側、位置は少し南側にずれているが、もしも被爆しなければこうあったであろう**産業奨励館をその風景とともに復元**。原爆ドームと対比させることで、ヒロシマの地で何が起こったのかを強く世界中の人々の脳裏に焼きつけ記憶の風化を防ぐ装置とする。もちろん産業奨励館としてその役割を果たしてもらい、世界交流・発信の広場の中心施設として親しんでもらいたい。

やすらぎ川を挟んで「**再生産業奨励館**」の正面、平和島の中央に「**国連核廃絶世界平和実現推進センター**」を配置、その周辺に「**広島長崎院**」、「**迎賓館**」、「**委員・来賓宿泊居住棟**」。再生産業奨励館を眺めながら世界平和実現のために励んでいただける閑静な環境とする。また「**島**」とすることでその象徴性・純度を高め、その存在を強く世界に認知させる。またセキュリティ面でも安全性の高いデザインだと思います。建設費については国連や世界各国からの募る。

再生産業奨励館の背後には……………

***国連大学**／現在、東京渋谷に本部があるがよりその機能を拡大拡充したものを移設。

***国際交流センター&国連大学オープンカレッジ**／世界各国間の文化・経済交流の場。文化・芸術展、技術・産業展などを開催。国連大学の一般市民向け公開講義の場、世界情勢の勉学の場。

***国際青少年センター**／世界各国の青少年交流、勉学の場。国連大学・国連大学オープンカレッジとの交流も。

***商工会議所**／従来の業務と国際交流センター&国連大学オープンカレッジの管理運営業務。各国企業等の交流サポート、交流促進のための企画発案・開催業務。世界交流発信の広場各施設の連携を図る業務。

***スポーツ&ヘルスセンター**／各種スポーツ施設、スポーツ大会開催、健康促進の情報収集提供業務。

***国際医療技術研究センター**／世界の最新医療技術情報収集分析・統括的研究。近未来医療の世界的ネットワーク構築。

城南通りを挟んで南側には……………

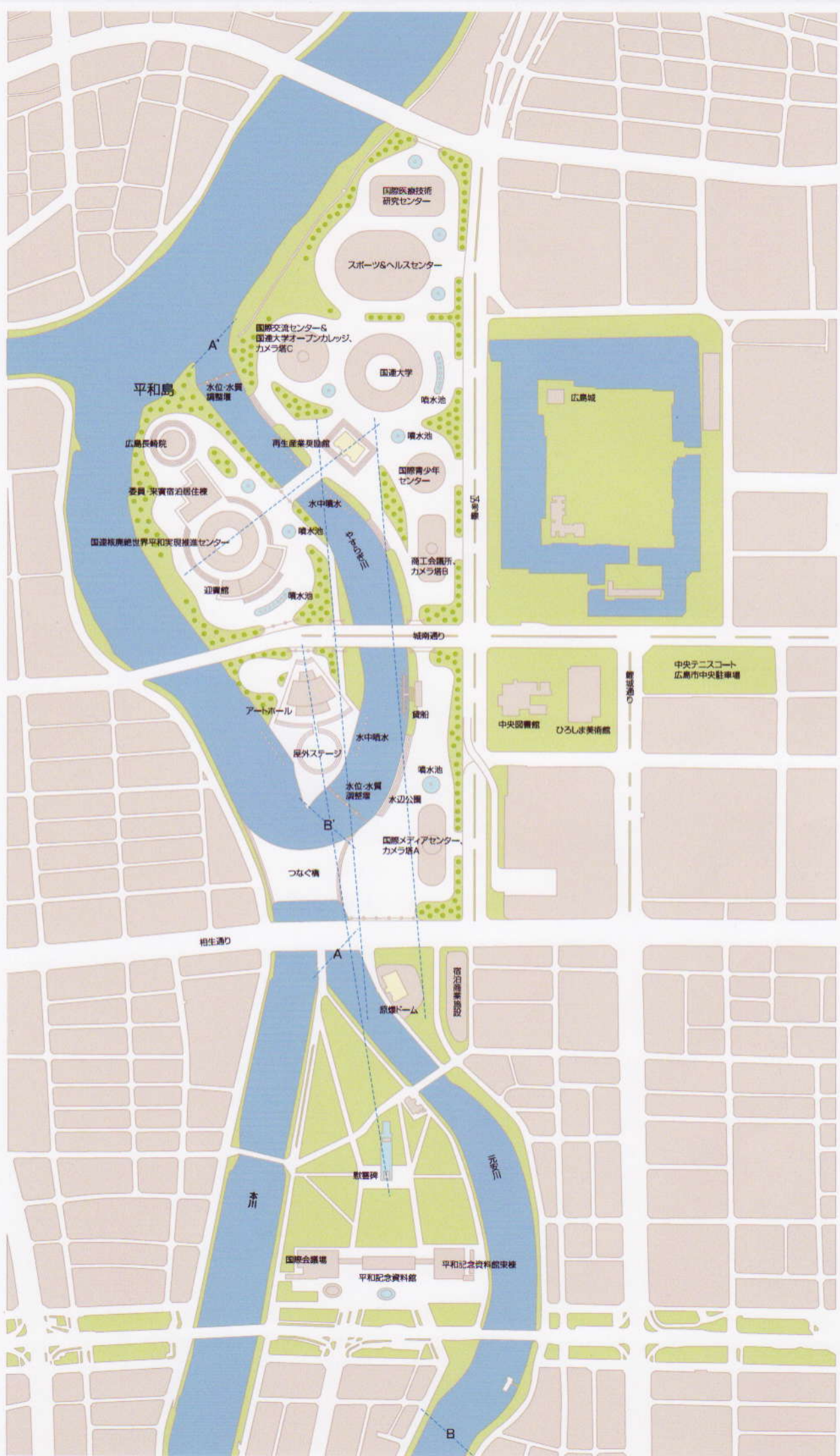
***アートホール**／城南通りを挟んで平和島の南部分、エックス状に交差する川の交点の広い空間に設置。またそこは原爆ドームと再生産業奨励館を見通せる中間に位置し、世界中のアーティストのパフォーマンスを最大限に引き立て、ヒロシマの願い、思いを世界に届けるインプレッシヴなアートスペース。世界音楽祭等開催。

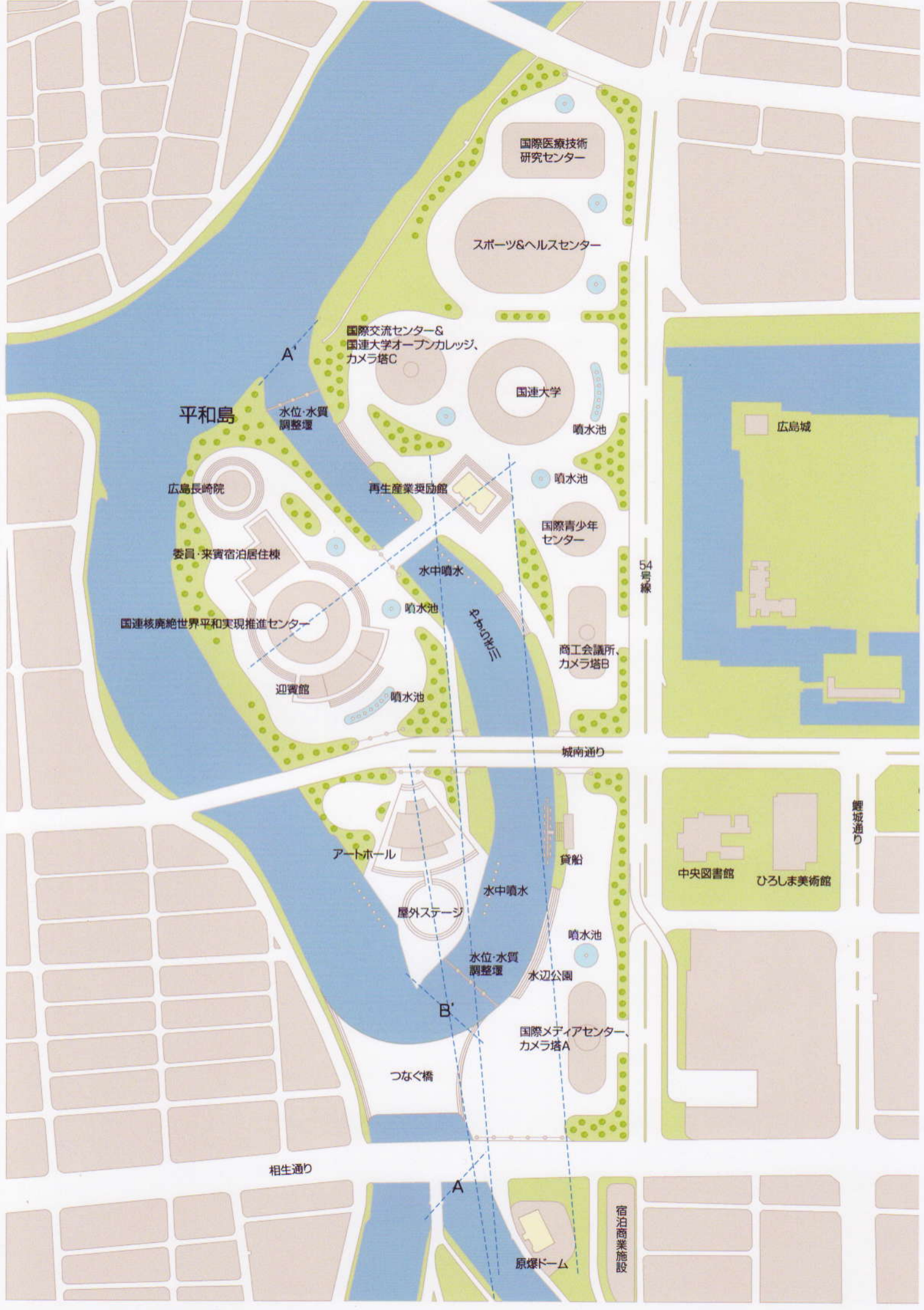
***国際メディアセンター**／各国メディアの支部を招致。国連核廃絶世界平和実現推進センターの情報やアートホールでの模様、ヒロシマ、日本の情報を世界に発信。

***水辺公園**／これだけ川の多い広島ですが、意外と川遊びの習慣・場所が少ない。新たに通した川に調整堰を設け貸ボート等で安心して遊べる場に。また川がX状に交差する所はアートホールを囲う様に位置し、つなぐ橋を含め広大な屋外観客席となります。川ともう一つ水をテーマとして噴水池、水中噴水を多く配していますが「**水**」は人の心を和ませ癒す力があると思うからです。市民はもとより、荒んだ地域に生きる来訪者に安らぎを与え希望と勇気が生まれる場にしたい。また多様な出会いと交流が生まれるように各施設の境界は緩やかなものとしています。

経済的には供給ではなく需要の拡大が望めます。単なる供給スペースはもう過多な状況。地下街等の状況を見ればそれは明らかです。ヒロシマを真の国際平和都市とすることができれば、様々な交流により広範囲の分野・地域が活性化、広島だけでなく瀬戸内海地域、日本全体へと好影響を与えることができると思います。

以上、ヒロシマが国際平和都市となる私の夢を想い描いてみました。ご覧いただき、ありがとうございました。





国際医療技術
研究センター

スポーツ&ヘルスセンター

国際交流センター&
国連大学オープンカレッジ、
カメラ塔C

国連大学

平和島

水位・水質
調整環

噴水池

広島長崎院

再生産業奨励館

噴水池

委員・来賓宿泊居住棟

水中噴水

国際青少年
センター

国連核廃絶世界平和実現推進センター

噴水池

商会議所、
カメラ塔B

迎賓館

噴水池

54号線

広島城

城南通り

アートホール

貸船

中央図書館

ひろしま美術館

鯉城通り

屋外ステージ

水中噴水

噴水池

水位・水質
調整環

水辺公園

B

国際メディアセンター、
カメラ塔A

つなぐ橋

相生通り

A

原爆ドーム

宿泊商業施設